

平成24年度環境省委託事業

平成24年度家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

平成25年2月

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

目 次

1	業務の目的.....	1
2	診断実施事務局業務.....	1
2.1	診断員の募集と養成.....	1
(1)	診断員の募集.....	1
(2)	うちエコ診断員へのサポート.....	2
2.2	受診希望者の募集.....	2
(1)	自治体等との連携.....	2
(2)	イベント等での事業紹介.....	3
(3)	講座等での事業紹介.....	4
(4)	ウェブでの事業紹介.....	4
(5)	マスコミリリース.....	5
(6)	情報紙による広報.....	5
(7)	メールマガジンによる広報.....	5
(8)	受診者募集総括.....	5
2.3	うちエコ診断の実施.....	6
2.4	受診後アンケート結果のとりまとめ.....	6
2.5	受診家庭における CO ₂ 排出削減量のとりまとめ.....	15

1 業務の目的

我が国の温室効果ガス排出量は、京都議定書に基づき基準年比（1990年比）で-6%を求められており、また中長期的に持続可能な低炭素社会を構築するためには、家庭も含めた全分野で大幅な削減が必要だが、逆に家庭部門では2010年、1990年比で3割以上増加しており、従来の日々の取組を中心とした対策を超えて、家庭における全ての排出源で抜本的な対策が必要である。

従来の普及啓発を中心とした施策によって、温暖化に対する意識は向上しているものの、実際の削減行動には十分に結びついておらず、国民の意識の向上を実際の行動に移すためには、各家庭の排出状況に応じた、きめ細やかなアドバイスが求められる。平成22年6月18日に閣議決定された「新成長戦略 ―「元気な日本」復活のシナリオ―」においては、そのようなニーズを、あらゆる要望に応える総合サービスを提供する「コンシェルジュ」になぞらえて、「家庭部門でのゼロエミッション化を進めるため、各家庭にアドバイスをする「環境コンシェルジュ制度」を創設する」とされており、その基盤整備を行う事業である家庭エコ診断推進基盤整備事業（以下、「本事業」という）の中で、家庭エコ診断（以下、通称「うちエコ診断」という）を試行的に実施することを本業務の目的とする。

2 診断実施事務局業務

2.1 診断員の募集と養成

(1) 診断員の募集

1) フォローアップ研修会推薦者人数

平成23年度うちエコ診断員9名中、8名を推薦した。（平成23年度うちエコ診断員9名のうち1名は、パソコン・ソフト操作スキル面の不安から除外した）

2) 新規養成研修会

募集方法は、以下対象に対し主にメーリングリストを通して、募集要項と応募用紙を配信した。

<募集対象>

推進員、宮城県環境教育リーダー、宮城県建築士会、環境カウンセラー協会、みちのくEMS審査員・評価員、昨年度うちエコ診断員（フォローアップ研修の推薦から除外した方）、昨年度のうちエコ診断員への応募者

3) 診断員人数

フォローアップ研修会	参加者	7名（推薦者8名のうち1名キャンセル）
	合格者	7名
新規養成研修会	応募者	8名
	参加者	6名 内訳：新規応募者4名（うち1名は地域事務局スタッフ）、フォローアップ研修会をキャンセルした1名、フォローアップ研修会の推薦から除外した1名 （応募者8名のうち2名は、募集要件を満たしていないと判断し書類選考にて不合格とした）
	合格者	4名（新規応募者2名、フォローアップ研修会キャンセル1名、フォローアップ研修会推薦除外1名）
合格者合計		11名（うち1名は地域事務局スタッフ）

(2) うちエコ診断員へのサポート

1) うちエコ診断員合格者への説明会の実施

8月以降本格的な広報・診断を開始するにあたり、うちエコ診断手続きの Web 化や、交通費・謝金の支払いを地域センターが行うことになったことなど、昨年度との変更点についての説明会を実施した。

日 時：8月7日（火）13:30～15:30

場 所：フォレスト仙台 5F 501 会議室

参加者：9名（参加率 82%）

内 容： 1.本日の流れ、目的について
2.自己紹介、アイスブレイク
3.平成 23 年度報告および平成 24 年度事業について
4.診断プロセスについて
5.交通費・謝金の支払いについて



自己紹介



パワーポイントを使った事業の説明

2) 昨年度に引き続き診断員メーリングリストを作成し、地域事務局からの情報発信や診断員同の情報交換の場として活用した。

3) 省エネ性能カタログ等のパンフレットの配布や、レーザー温度計、節水シャワーヘッド等、診断時に活用できる備品の貸し出しを行った。

2.2 受診希望者の募集

(1) 自治体等との連携

大崎市、登米市、栗原市、名取市、利府町、川崎町、村田町、亶理町の環境担当者に対し、デモ診断を行い受診者募集協力を依頼した。その結果、大崎市・村田町は太陽光発電補助金申請者に対するチラシ配布による案内、利府町は回覧版へ案内同封(全町民へ回覧、掲載例を図1に示す)、亶理町は環境美化推進員研修会での案内などを行っていただいた。

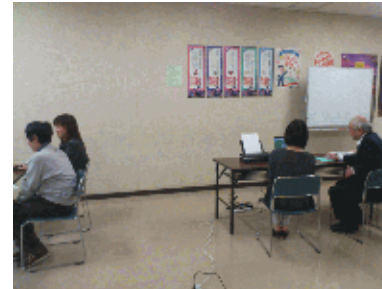
また、宮城県や仙台市については職員を対象にした集団診断の協力をお願いし、計 25 名に受診いただいた。



図1 利府町回覧板への掲載例



仙台市職員対象の集団診断



宮城県職員対象の集団診断

(2) イベント等での事業紹介

地域イベント等で、ブース出展を行いうちエコ診断の広報および会場診断を行った。開催内訳および申込者数を以下の表に記す。

日時	内訳	申込者
9/29	MLEON 総会	9名
9/30	りふ環境まるごとフェア 2012	7名
10/7	おおさき環境フェア 2012	4名
10/19~21	エコプロダクツ東北 2012	14名
12/2	環境フォーラム 2012	11名
2/3	なっ得! 発見! エコフォーラム	6名
2/11	再生可能エネルギーであつたまろう!!	5名
合計		56名



エコプロダクツ東北 2012



なっ得! 発見! エコフォーラム

(3) 講座等での事業紹介

環境講座で、地域事務局スタッフやうちエコ診断員が講師となり、省エネのお話とともにうちエコ診断の紹介を行い、講座参加者に対し受診者募集を行った。また、シンポジウム会場の一角にうちエコ診断コーナーを設け、来場者に対し事業紹介を行った。開催内訳および申込者数を以下の表に記す。

日時	内訳	申込
8/4	大崎市内の講座（診断員菅野喜美恵氏対応）	0名
8/7	みやぎ生協講座（診断員大友浩一氏対応）	0名
10/25	名取市増田西公民館講座	0名
11/2	消費者力アップ講座（みやぎ生協主催）	5名
11/16	自然エネルギー等普及プロジェクトシンポジウム	1名
2/5	みやぎ生協環境研究会	3名

(4) ウェブでの事業紹介

当法人のウェブサイトにて、以下うちエコ診断のページを作成し募集を行った。（掲載例を図2に記す）

図2 当法人ウェブサイトへの掲載例

(5) マスコミリリース

募集対象・期間、診断内容や形式、申込先などを記載した案内文書と、うちエコ診断チラシを宮城県内の報道関係者宛に FAX にて送付した。その結果、以下メディアに取り上げられた。

	日付	局	番組名
1	6/13 (水)	NHK 仙台放送局	てれまさむね
2	6/21 (木)	NHK 仙台放送局	てれまさむね
3	6/25 (月)	NHK 仙台ラジオ	ゴジだっちゃ!
4	2/13 (水)	ミヤギテレビ	OH!バンドス

(6) 情報紙による広報

当法人情報紙「MELON 情報紙 99 号」(2012 年 9 月発行)に、うちエコ診断の紹介と受診者募集の記事を掲載し、当法人会員約 1000 名に送付した。(情報紙への掲載例を図 3 に記す)



図 3 情報紙への掲載例

(7) メールマガジンによる広報

当法人の会員等向けのメールマガジン「MELON メールニュース」Vol.108(2012 年 6 月 8 日配信)、Vol.115(2013 年 2 月 12 日配信)にて、受診者募集の案内を配信した。

(8) 受診者募集総括

(1)から(7)において、(2)イベント等での事業紹介や(3)講座等での事業紹介は、今年度新たに取り組んだ方法である。多くの市民が集まるイベント等で、直接市民とコミュニケーションを取りながら広報を行ったことで、より多くの市民にうちエコ診断を周知することができたほか、環境関連のイベントでは来場者の省エネへの意識も高く、多くの申込をいただくことができた。結果として、(2)イベント等での事業紹介および(3)講座等での事業紹介による申込者は合わせて 59 名(申込者全体の 48%)を占めたことから、受診者募集には大きな効果があったと言える。

2.3 うちエコ診断の実施

本年度業務におけるうちエコ診断の月別の実施状況を図4および表1に示す。

		6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	合計	達成率
申込件数		4	4	1	17	19	25	16	23	23	131	88.0%
実施件数		2	3	0	15	18	18	21	24	24	125	83.3%
実施 内 訳	窓口	1					4	2		6	13	
	会場				15	17		11		13	56	
	集団						12	7	22	4	45	
	訪問	1	3			1	2	1	2	1	11	

図4 月別実施状況

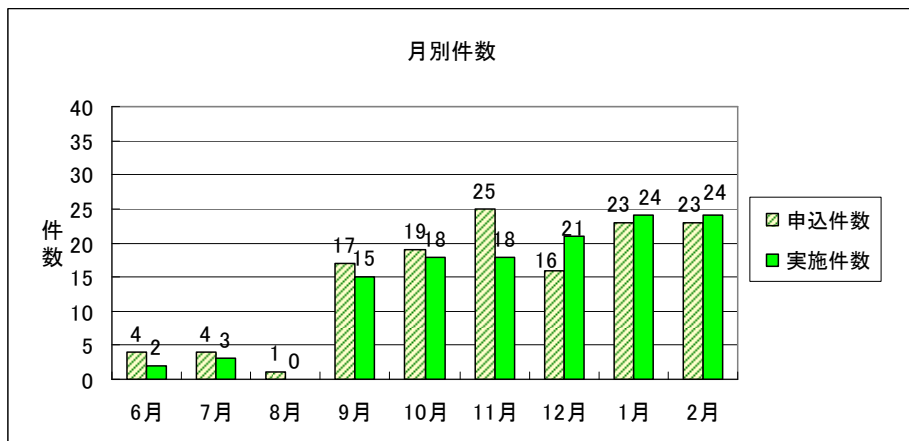


表1 月別実施状況

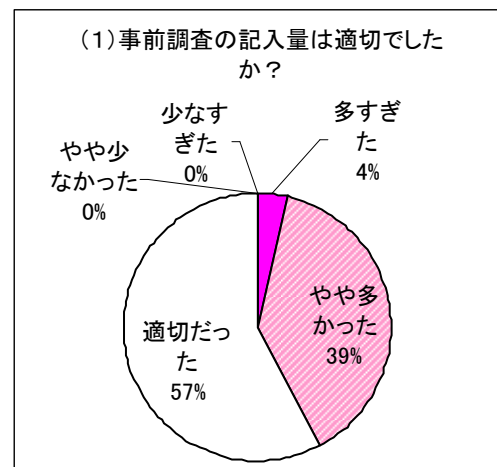
2.4 受診後アンケート結果のとりまとめ

回答者 57名 / 受診者 125名 (回答率 45.6%) (※平成25年2月22日までの到着分)

I 事前調査票について

(1) 事前調査の記入量は適切でしたか？

	項目	件数
1	多すぎた	2
2	やや多かった	22
3	適切だった	33
4	やや少なかった	0
5	少なすぎた	0
合計		57



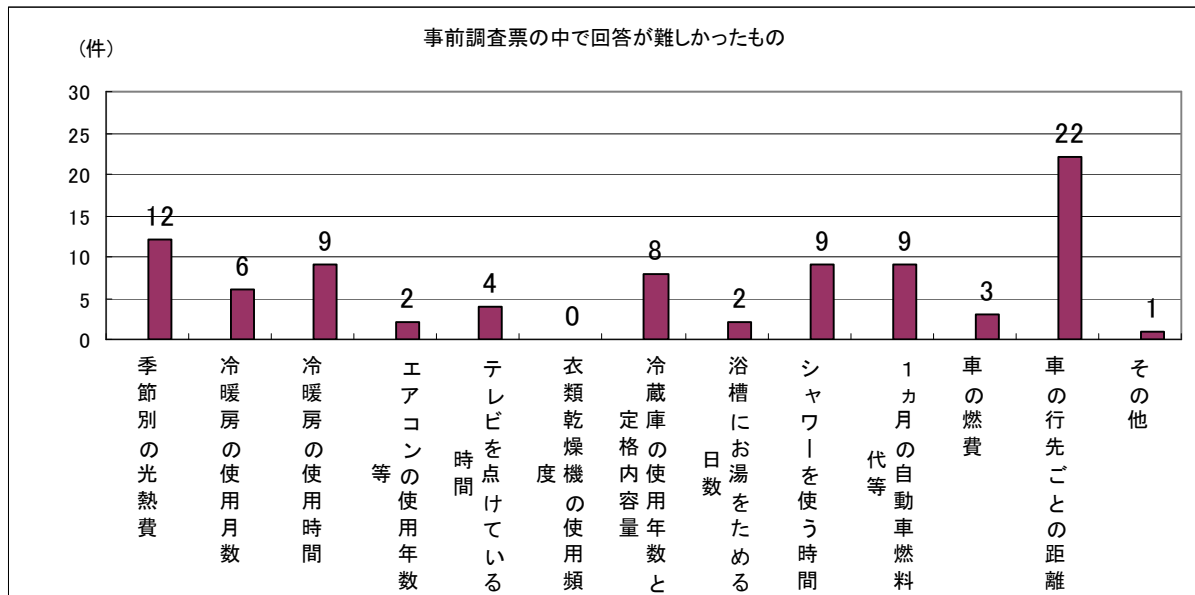
「適切だった」の割合が57%、次いで「多すぎた」「やや多かった」の割合が43%だった。「やや少なかった」「少なすぎた」と回答した人はいなかった。

(2) 事前調査票の質問の中で実態が分からず回答が難しかったものはありましたか？
(複数回答可)

	項目	件数		項目	件数
1	季節別の光熱費	12	8	浴槽にお湯をためる日数	2
2	冷暖房の使用月数	6	9	シャワーを使う時間	9
3	冷暖房の使用時間	9	10	1ヵ月の自動車燃料代等	9
4	エアコンの使用年数等	2	11	車の燃費	3
5	テレビを点けている時間	4	12	車の行先ごとの距離	22
6	衣類乾燥機の使用頻度	0	13	その他	1
7	冷蔵庫の使用年数と定格内容量	8	合計		87

【「その他」の回答】

・灯油の量



「車の行先ごとの距離」の回答が最も多かった。受診者の中には、車の使用用途とガソリン消費の割合が大幅にずれしており合わせるのに苦労していた方が多々見られていたことから、回答者が多くなったのではないかと考えられる。

II 診断ソフトについて

(1) 今後の省エネ・CO₂削減対策を進める上で「特に役に立った」と思う診断項目を選択してください。(複数回答可)

	項目	件数
1	ランキング情報	22
2	CO ₂ 削減目標設定	12
3	家庭のCO ₂ 排出内訳	20
4	総合診断結果	26
5	分野別診断結果	6

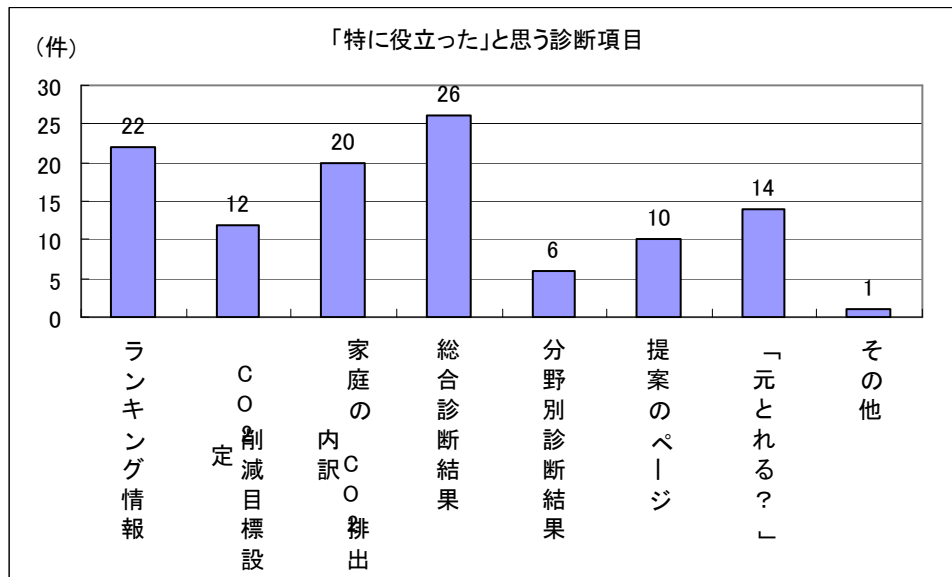
【「分野別診断結果」の回答】

・冷暖房 1件 ・給湯 2件
・電気ポット 1件 ・自家用車 1件

【「その他」の回答】

・目標設定

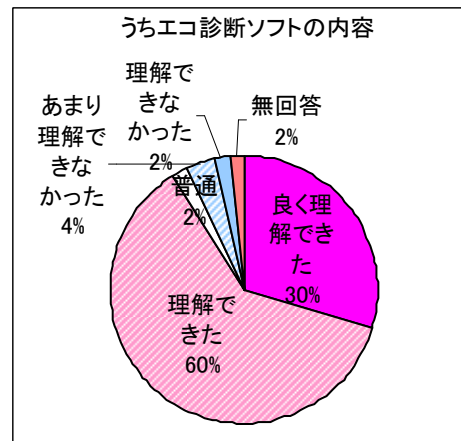
6	提案のページ	10
7	「元とれる？」	14
8	その他	1
	合計	111



「総合診断結果」が最も多く、次いで「ランキング情報」、「家庭のCO₂排出内訳」が多かった。

(2) うちエコ診断ソフトの内容は理解できましたか？

	項目	件数
1	良く理解できた	17
2	理解できた	35
3	普通	1
4	あまり理解できなかった	2
5	理解できなかった	1
6	無回答	1
	合計	57



【「理解できた」の理由】

- ・説明を受けながらの診断で理解できた。
- ・調査のデータが正しくないと（より正確でない）参考にできない部分があった。

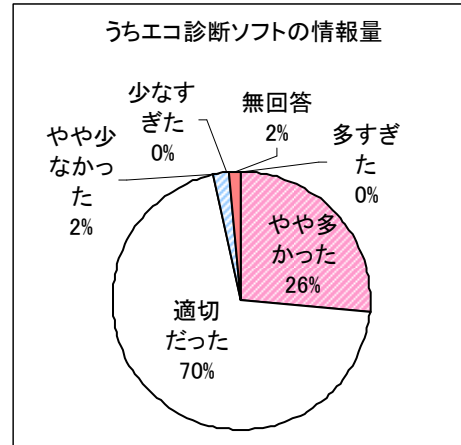
【「あまり理解できなかった」の理由】

- ・調査の目的の説明不十分

「良く理解できた」「理解できた」の割合が90%であった。

(3) うちエコ診断ソフトの情報量は適切でしたか？

	項目	件数
1	多すぎた	0
2	やや多かった	15
3	適切だった	40
4	やや少なかった	1
5	少なすぎた	0
6	無回答	1
	合計	57



【「やや多かった」の理由】

- ・全体としてみて事前調査票記入に時間がかかってしまった。
- ・もう少し項目を絞ってもいいのでは。
- ・分析対応が大変
- ・細かすぎる。
- ・情報量が多いと思いました。

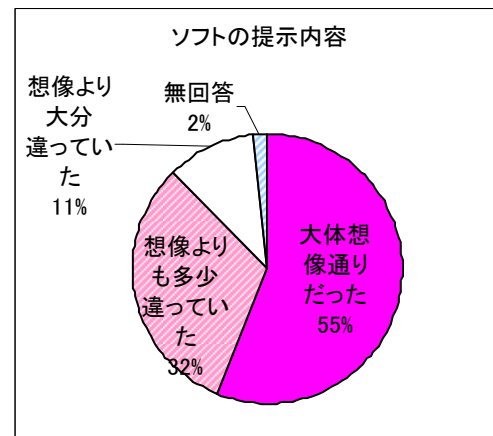
【「やや少なかった」の理由】

- ・調査票のデータをもっと正確にとって診断を受けたかった。

「適切だった」の割合が70%と最も多く、次いで「やや多かった」が26%であった。「多すぎた」「少なすぎた」と回答した人はいなかった。

(4) うちエコ診断ソフトの提示する内容は、事前に説明を受けた際のあなたの想像通りでしたか？

	項目	件数
1	大体想像通りだった	32
2	想像よりも多少違っていた	18
3	想像より大分違っていた	6
4	無回答	1
	合計	57



【「想像よりも多少違っていた」の理由】

- ・どんな事が良くわからなかったから。
- ・個々の電気製品をチェックするかと思ったが、口頭による申告のみでした。ただ、自宅なので確認されたことを自分で確かめることができた。
- ・自分が意外にエコな生活を送っていて驚いた。
- ・具体的な数値が出ておもしろかった。
- ・当然なのかもしれないが効果が金額で出されていることに多少驚いた。
- ・家を実際に見て、回答した用紙とともに行う診断だと思った。
- ・対策をとった場合の違い (CO₂、費用) が即時に表示され、わかりやすかった。

- ・自分のデータ入力に間違いがあった（予想的なずれが生じていた）。
- ・想像以上に多角的でわかりやすかった。
- ・電気代、ガス代が世帯平均より高かったこと。
- ・蓄熱暖房を考慮しにくい形だったと思われ、結果が内容と一致しない所があった。

【「想像よりも大分違っていた」の理由】

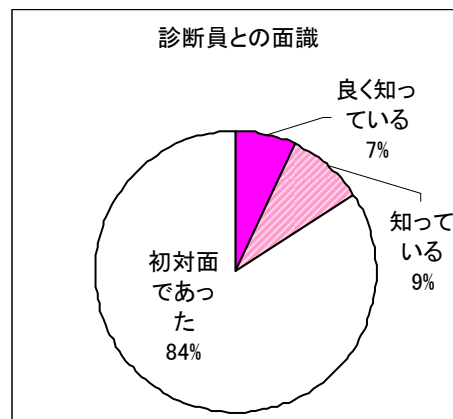
- ・ガソリン代や灯油代が大きな比率を占めていることに驚きました。
- ・オール電化住宅なので節電に努めているつもりだが…。また田舎で交通機関が整っていないので車を利用せざるを得ない（電気自動車インフラが整備されていないので難しい）。
- ・普通に生活していた事が省エネにつながっていた事にビックリでした。
- ・時間のかかり過ぎ
- ・項目が多すぎと細かすぎと思います。

「大体想像通りだった」の割合が 55%と最も多かった。「多少違っていた」「大分違っていた」の割合は 43%であり、その理由として、“診断形式等に対するイメージの違い”と、“自宅のエコ度の結果に対するイメージの違い(思ったよりエコ生活を送っていたなど)”の二つに分かれた。

Ⅲ今回診断を行った診断員についてお聞かせください。

(1) 今回診断を行った診断員とは面識がありましたか？

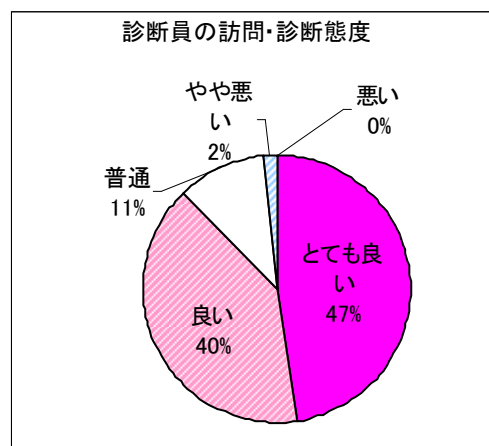
項目	件数
1 良く知っている	4
2 知っている	5
3 初対面であった	48
合計	57



「初対面」が 84%、「良く知っている」「知っている」は 16%であった。

(2) 診断員の訪問・診断態度はいかがでしたか。

項目	件数
1 とても良い	27
2 良い	23
3 普通	6
4 やや悪い	1
5 悪い	0
合計	57



【「とても良い」の理由】

- ・診断項目についてわかりやすく説明をしていただき回答しやすかった。

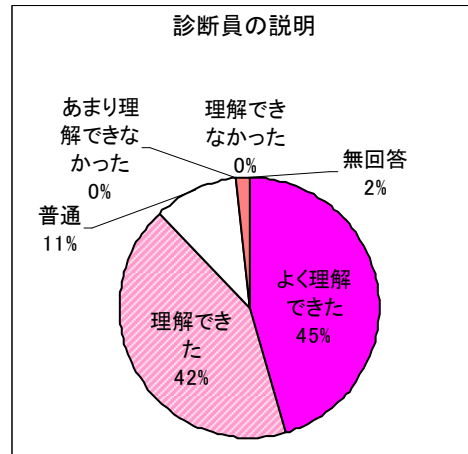
【「やや悪い」の理由】

- ・説明の際の導入、前提の置き方が唐突であった。

「とても良い」「良い」の割合が 83%であった。「やや悪い」の割合が 2%であり、その理由から、診断始めのコミュニケーションをよくとることが重要と思われる。

(3) 診断員の説明はいかがでしたか？

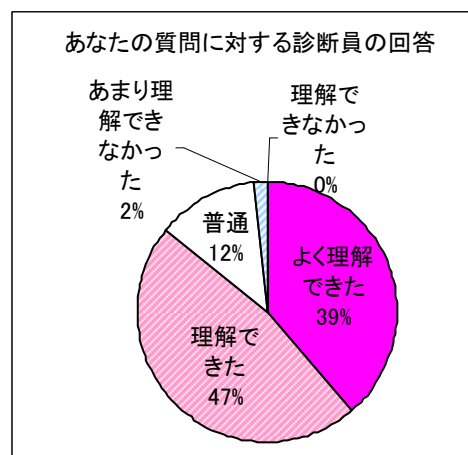
	項目	件数
1	よく理解できた	26
2	理解できた	24
3	普通	6
4	あまり理解できなかった	0
5	理解できなかった	0
6	無回答	1
	合計	57



「よく理解できた」「理解できた」の割合が 87%であった。「あまり理解できなかった」「理解できなかった」と回答した人はいなかった。

(4) あなたのご質問に対する診断員の回答はいかがでしたか？

	項目	件数
1	よく理解できた	22
2	理解できた	27
3	普通	7
4	あまり理解できなかった	1
5	理解できなかった	0
	合計	57



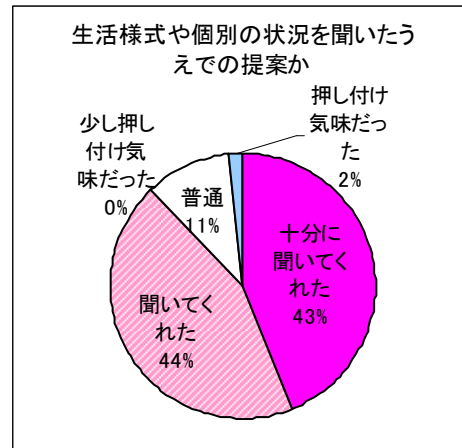
【「あまり理解できなかった」の理由】

- ・ソフトの使い方に慣れていなかったように感じた。

「よく理解できた」「理解できた」の割合が 86%であった。「あまり理解できなかった」の理由から、受診者の理解度を高めるためには、診断員のスキルとしてソフトやパソコン操作をスムーズに行えることが必須と思われる。

(5) 診断員はあなたの生活様式や個別の状況を十分に聞いた上で提案をしてくれましたか？

	項目	件数
1	十分に聞いてくれた	25
2	聞いてくれた	25
3	普通	6
4	少し押し付け気味だった	0
5	押し付け気味だった	1
	合計	57



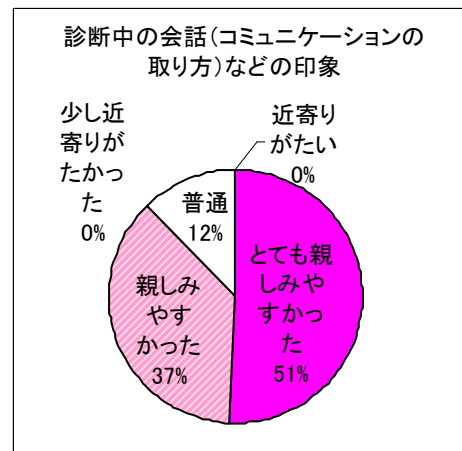
【「押し付け気味だった」の理由】

- ・話し方が断定的で違和感を感じた。

「十分に聞いてくれた」「聞いてくれた」の割合が87%であった。「少し押し付け気味だった」と回答した人も1名いた。

(6) 診断中の会話（コミュニケーションの取り方）などの印象はいかがでしたか？

	項目	件数
1	とても親しみやすかった	29
2	親しみやすかった	21
3	普通	7
4	少し近寄りたかった	0
5	近寄りたがい	0
	合計	57

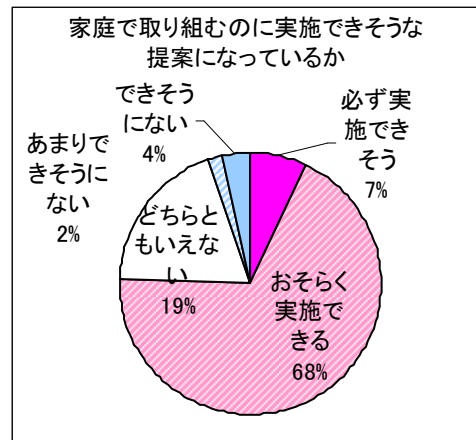


「とても親しみやすかった」「親しみやすかった」の割合が88%であった。「少し近寄りたかった」「近寄りたがい」と回答した人はいなかった。

IV うちエコ診断受診後のご感想をお聞かせください。

(1) 今回の提案は、あなたのご家庭で取り組むのに実施できそうな提案になっていますか？

	項目	件数
1	必ず実施できそう	4
2	おそらく実施できる	39
3	どちらともいえない	11
4	あまりできそうにない	1
5	できそうにない	2
	合計	57



【「おそらく実施できる」の理由】

- ・診断結果はとても良かったのですが車を含めない場合でした。現在住んでいるところは車がないと不便なため使わざるをえません、公共交通機関がよくなれば積極的に使い、エコを進めていきたいですね。

【「あまりできそうにない」の理由】

- ・経済的理由(太陽光発電装置設置の提案に関して)

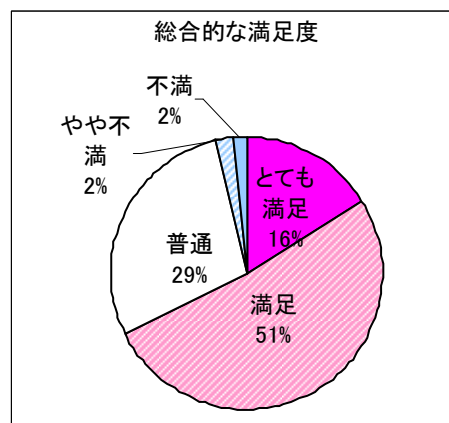
【「できそうにない」の理由】

- ・古い冷蔵庫とエアコンを新しい省エネに取り替えることであるが、そのお金がない。

「必ず実行できる」「おそらく実行できる」の割合が75%であった。「あまりできそうにない」「できそうにない」と回答した人の理由はいずれも金銭面の理由からできそうにないとのことであった。

(2) 申し込みプロセス等の手続きを含む、うちエコ診断についての総合的な満足度を選択してください。

	項目	件数
1	とても満足	9
2	満足	29
3	普通	16
4	やや不満	1
5	不満	1
6	無回答	1
	合計	57

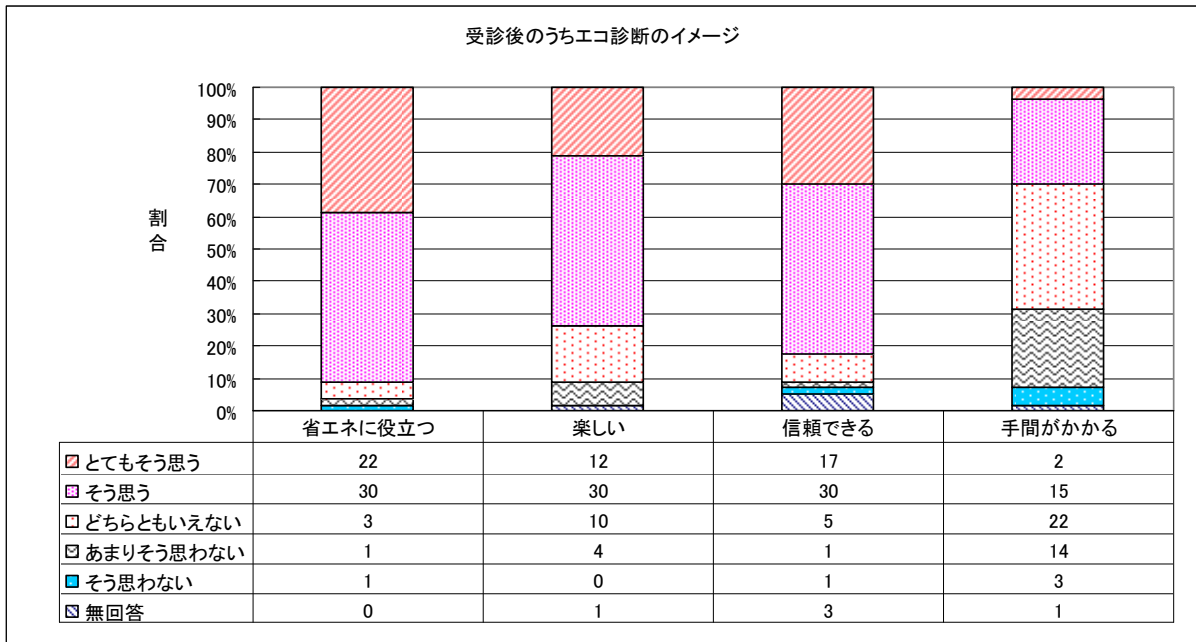


【「やや不満」の理由】

- ・職場からの指示を受けた形であった。

「とても満足」「満足」の割合が67%であった。「やや不満」と回答した人の理由から、職場での集団診断の受診者の中には、診断に対して積極的でない方もいたと思われる。消極的な方にも満足していただけるような診断方法についても学ぶ必要がある。

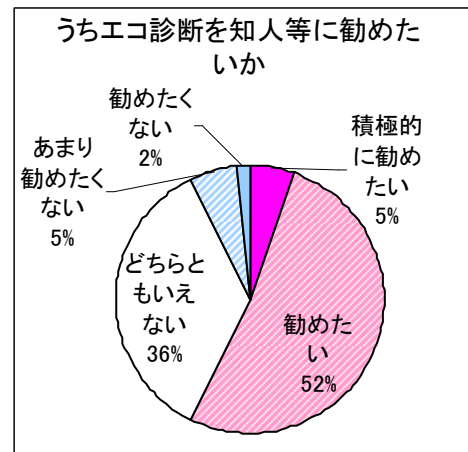
(3) 診断を受けた結果、うちエコ診断のイメージはどのようになりましたか。



うちエコ診断に対し「とてもそう思う」「そう思う」と回答したイメージの高い順から、「省エネに役立つ」「信頼できる」「楽しい」がそれぞれ91%、87%、75%であった。「手間がかかる」に対するイメージの偏りは見られなかった。

(4) うちエコ診断を知人等に勧めたいと思いますか？

	項目	件数
1	積極的に勧めたい	3
2	勧めたい	29
3	どちらともいえない	20
4	あまり勧めたくない	3
5	勧めたくない	1
6	無回答	1
	合計	57



「積極的に勧めたい」「勧めたい」の割合が57%、「どちらともいえない」の割合が36%という結果であった。

(5) 診断内容に対してご意見・ご批判・ご要望等ありましたらお書きください。

- ・ハイブリッド車なら燃費がいいと思っていたがそうでもないことが分かった。2台の車のうちの一台をやめにするの方がよりベターであることが見つかったことはよかった。

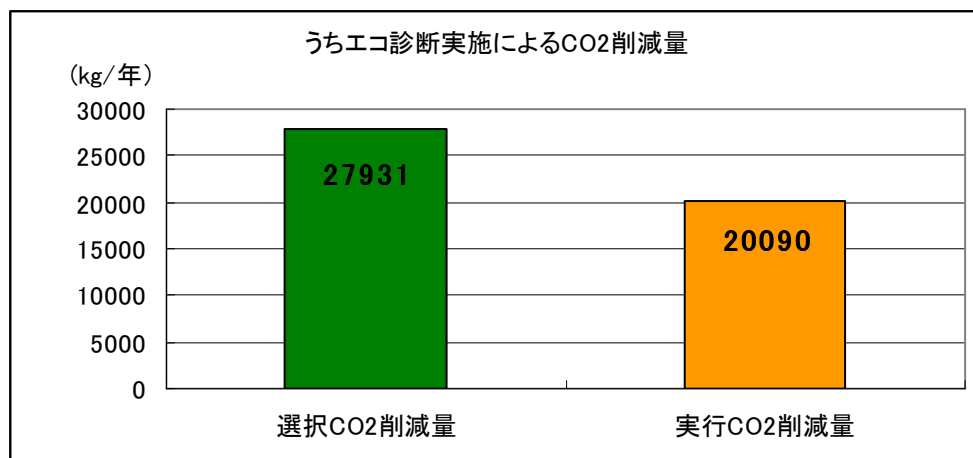
- ・いい機会に診断していただけたと思います。やれることを行いたいと思います。
- ・基礎資料となる電気代、ガソリン代、走行距離を調べたうえでのアンケート記入なら良いが、イベント中でのアンケートはデータが不備のため正確なアドバイスが出ない。
- ・中立の立場の診断評価なので期待どおりでした。対策のコストも参考になりました。
- ・エコ診断を実行した知人に勧められ一度やってみたいと思っていました。今回エコプロで診断ができよかったです。診断員の説明もわかりやすく楽しくすることができました。ありがとうございました。
- ・近々、太陽光発電開始になるのでその前に診断いただきとてもよかったです。また日々の暮らしの見直しになり嬉しいです。また1年後位に診断してもらいたいです。ありがとうございました。
- ・盛り沢山情報提供していただきありがとうございました。1時間では短くくらいでした。
- ・現在の生活が平均と比較してどの程度の位置にあるのかがよく分かりました。まだ削減の余地はあるのでできる範囲での節電に努めていきたいと感じました。
- ・車の買い替え、太陽光発電の設置、給湯設備の変更など、多額の初期費用を要する対策については提案を受けても非現実的な気がするので、他の対策とは分けたほうが良い。
- ・家庭のデータを正確に把握しなければならないのでそこで効果に差が出ると思う。
- ・インターネットで自己診断できるようになると良いのですが。
- ・想定していたとおりの結果となり、生活スタイルを見直さないといけないと思った。クルマの燃費について、冬場の状況で資料としてしまったが、我が家のハイブリッド車は夏場に対し冬場の燃費が1.5倍になることを考慮しなかった。

2.5 受診家庭におけるCO₂排出削減量のとりまとめ

評価ツールを用いて算出した、うちエコ診断時に選択された対策項目のCO₂削減量と事後調査票で回答された実行による対策項目のCO₂削減量を以下に示す。

回答者 34名／受診者 125名(回答率 27.2%) (※2月22日までの事後アンケート到着分)

	CO ₂ 削減量(kg/年)
選択 CO ₂ 削減量	27,931
実行 CO ₂ 削減量	20,090



平成24年度 家庭エコ診断推進基盤整備事業に係る
地域別家庭エコ診断試行実施業務
(宮城県)
報告書

発行 平成25年2月

問合せ先 〒981-0933 仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階

公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク

TEL/022-301-9145 FAX/022-219-5710

E-mail/stop_gw@miyagi.jp

URL/http://www.melon.or.jp/melon/contents/Global_Warming/index.htm